

大阪府市場だより

大阪府中央卸売市場



総合食品供給基地

第362号 令和4年4月28日
発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1 水産棟3階）
連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
URL https://fu-ichiba.jp



常駐代表者会議

標記会議（山口秀雄議長）が4月21日に管理棟で開催されました。議事概要は次のとおりです。

■新メンバー紹介

中村場長、鈴木次長、川辺（株）おいち北部支社長から挨拶。中村場長からは、早速実施した早朝の場内視察の感想が述べられた。（3ページを参照）

■府からの報告

○令和3年度の取扱高
年間取扱高は約886億円。前年度比較では、金額ベースで約184億円、20%の減。一方、直接集荷は金額ベースで約17億円、1.4%の増。これを踏まえ、議長が「荷受けの一層の頑張りを期待」と発言。

○府議会2月定例会

3月16日に、環境農林水産常任委員会で松本利明議員（維新・茨木市）が質疑。詳細は前号に掲載。

○市場再整備基本計画策定支援に係る委託業者の選定
全国の中央卸売市場の建替えに実績が豊富な山下PMCと三菱UFJリサーチ&コンサルティングの協同企業体に決定。10月末を目途に計画案のたたき台を策定し、場内関係者の意見を聴取の予定。

■管理Cからの報告

■活性化事業

・昨年度の実績
当初予算700万を超える約850万を実施。

・今年度の取組（ハード事業）
水産仲卸A棟防鳥ネットの設置工事

（ソフト事業）

大阪モノレール万博公園駅イベント（5月14・15日）
遠野商店、よらしい茸工房（授産品の 大阪産「生しいたけ」「しいたけ加工品」販売）が参加。

障害者福祉施設による軽食等授産製品販売（行政の福祉化）↓6月開始予定。
キッチンカーによる軽食等の販売
売り切れる日もあるほど好評。（次ページを参照）

■維持補修事業

・昨年度の実績
当初予算600万を超える617万を実施。

・今年度の取組

4月20日現在で17件、303万の事業を実施。

■府依頼事業

青果棟屋上防水改修工事（約410万）、水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事（約430万）。

■ごみ関連

○不法投棄

3月は14件で、対策開始前に比べて89.5%の減少。

○青果くず排出

・昨年度の実績
排出量・処理費用ともに+17.4%と大幅な増加。

今年度も増加傾向。



絵：「ブロッコリー」

令和4年度
食品衛生検査予定

令和4年度 食品衛生検査予定

■細菌検査予定

4月~10月	・マグロ、刺身の生食用鮮魚介類、場内加工鮮魚 ・うなぎ・あなご等の加工品 ・スプラウト、 ・弁当、そうざい、給食施設等の調理品
11月~3月	・生食用かきの細菌規格 ・漬物等
年間	・マグロ魚体のふき取り
随時	・釜揚げしらす、かますご、せこがに、ホタルイカ等季節物 ・カット野菜・フルーツ、海藻・ケン等 ・施設及び器具の清浄度検査(重点監視事業)

食品衛生検査所では、大規模流通拠点である大阪府中央卸売市場及び加工食品卸売団地施設内の食の安全を確保するため、今年度も昨年度同様2850件の検査を予定しています。過去の違反事例や、季節物や流通量の多い物など様々な食品を的確に検査するため年間計画をたてて実施いたします。ご理解、ご協力をよろしく申し上げます。なお、検査予定については、表のとおりです。さて、昨年6月から新しい営業許可区分による「食品営業許可」と「営業届出制」がスタートしました。

また、「HACCPに沿った衛生管理」も昨年6月から完全義務化されました。事業者の皆様には店舗の業種や規模に応じた「衛生管理計画」を作成し、実施、そして記録していただいているところです。加えて、店舗の衛生管理のレベルアップを図るため、記録を定期的に振り返り、問題があれば計画を見直すようにしましょう。これら新たな制度の内容など、食品衛生に関するご質問やご意見などがありましたら、食品衛生検査所までお気軽にご連絡ください。

■理化学検査予定

6・8月	・マグロ、鮮魚のヒスタミン
7・12月	・加工食品等の食品添加物(保存料、甘味料、着色料)
8・10・2月	・明太子、鰹肉ベーコンの発色剤 ・場内加工エビの二酸化イオウ ・養殖鮮魚等の合成抗菌剤、抗生物質
11月~3月	・生食用かきの塩分濃度、鮮度
12月	・ふぐ及びその加工品のふぐ毒
年間	・野菜・果実の残留農薬、防ばい剤 ・生鮮食品の放射性物質 ・ちりめんの過酸化水素
随時	・絵符の蛍光染料 ・ヒラメ、マグロの寄生虫 ・施設及び器具の清浄度検査(重点監視事業)

献血への協力



4月15日の午後、恒例の青果卸売協同組合主催の団体献血が、大果野菜部現場事務横で、新型コロナウイルス感染予防対策に十分に留意しながら実施されました。今回は20名の方に協力いただきました。ご協力、感謝いたします。

来月のお知らせ

・青果・水産両組合の通常総会が開催されます。
・協会の専門部会において昨年度の事業報告とあわせて今年度の事業計画が審議されます。
・食品衛生自主管理点検表が全ての仲卸さんに配布されます。

大阪府新型コロナウイルス対策本部会議からの要請

(令和4年4月25日から5月22日まで)

継続した感染防止対策として

【企業の皆様へ】

- 在宅勤務(テレワーク)の活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取り組みを進めること
- 休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクのある従業員、妊娠している従業員、同居家族に該当者がいる従業員について、テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと
- 業種別ガイドラインを遵守すること

【府民の皆様へ】

- 旅行や帰省等、都道府県間の移動は、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、移動先での感染リスクの高い行動を控えること
- 会食を行う際は、4ルールを遵守すること
 - ・同一テーブル4人以内
 - ・2時間程度以内での飲食
 - ・ゴールドステッカー認証店舗を推奨
 - ・マスク会食の徹底
- 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底、特に、子どもの感染防止対策を徹底すること

令和3年度の累計

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	114,375	96.8	24,270,548	94.3
	果実	49,144	100.5	19,961,587	102.7
	小計	163,519	97.9	44,232,136	97.9
水産物	生鮮水産物	17,325	91.4	15,315,651	97.4
	冷凍水産物	2,355	83.8	3,152,847	95.9
	加工水産物	10,474	94.5	11,130,587	95.9
	冷凍食品	3,797	97.6	1,995,962	97.5
	小計	33,951	92.4	31,595,047	96.7
総計		197,470	96.9	75,827,182	97.4

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	9,482	88.9	2,290,163	108.1
	果実	3,708	90.8	1,811,230	100.1
	小計	13,190	89.4	4,101,393	104.4
水産物	生鮮水産物	1,351	78.8	1,290,917	95.4
	冷凍水産物	188	88.2	249,693	110.7
	加工水産物	799	86.6	864,432	96.3
	冷凍食品	298	89.9	155,364	95.2
	小計	2,637	82.8	2,560,407	97.0
総計		15,827	88.2	6,661,800	101.4

卸売業者取扱高

3月・単月

流通状況調査結果

昨年10月2日(土)に、当市場を経由して供給された生鮮食料品等の流通の実態に係る標記の調査を管理Cが実施し、その結果が3月に公表されました。

○地域別の搬出状況

数量ベースでみた地域別の搬出先割合は、供給圏で42.4% (前年比2.9ポイント減)、供給圏以外の大阪府18.4%

場長就任のご挨拶

4月1日付で場長に就任した中村でございます。



大阪府中央卸売市場は、生鮮食料品の安定供給を通じて、府民の食生活の安定に大きな役割を担っております。その場長に就任し、改めて職責の重大さに身の引き締まる思いをいたしております。

卸売市場を取り巻く環境は、食品流通構造の変化や消費者ニーズの多様化等に加え、新型コロナウイルス

(同2.7ポイント減)、他府県39.2% (同5.6ポイント増)で約4割を占めました。このうち、兵庫県が12.5% (3.3ポイント増)、京都府が12.4% (1.6ポイント増)、次いで滋賀県4.2% (3.0ポイント増)、奈良県0.9% (0.1ポイント増)の順でした。

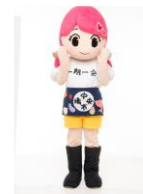
○業態別の搬出状況

数量ベースでみた業態別の搬出先割合は、スーパーが54.1%で最も多く、次いで一般小売業者が30.8%、その

感染症拡大リスクも含め、大変厳しい状況が続いております。このような中、府市場においては、生鮮食料品の流通における基幹的インフラ・関西の拠点市場としての機能を維持していかねければなりません。このため、一昨年から府市場のあり方検討に着手し、市場の将来めざすべき姿を明らかにするとともに、今年度からは、その実現に向けた建替え再整備に関する基本計画の策定に向けて尽力する所存です。計画の策定にあたっては、市場関係者のご意見も幅広くお聞きしながら、他市場との差別化を図り

他8.0%、加工業者4.1%、給食業者1.6%、飲食業者1.5%でした。

前年比をみると、一般小売業者8.6ポイント増、加工業者2.4ポイント増に対し、スーパー2.2ポイント減、その他8.7ポイント減、給食業者、飲食業者の増減はありませんでした。



つつ、西日本における食品流通の中核を担う市場の実現に向けて取り組んでまいります。

また、本年4月から3期11年目となる指定管理者管理センターとともに、引き続き、市場の活性化と機能強化をめざし、様々な取り組みを進めてまいりますので、皆様方のご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

中村昌也(なかむらまさ也) 新場長略歴

昭和61年4月大阪府入庁。平成20年4月市町村課参事(高石市副市長)。平成23年4月府民文化都市魅力創造局国際交流・観光課長。平成26年4月府民文化都市魅力創造局国際課長。平成28年4月健康医療部副理事。平成29年4月1R推進局次長。令和2年4月1R推進局理事。

人事異動(府市場関係)

※敬称略、4月1日付、退職は3月31日付、()内は前職

■大阪府(中央卸売市場関係)

《転入》▽部長(農政室長)原田行司

《転出》▽定年退職(部長)南部和人

■府中央卸売市場

《転入》▽場長(1R推進局理事)中村昌也▽次長(環境農林水産部農政室推進課課長補佐)鈴木紀之▽主査(総務企画総括)(会計局会計総務課主査)石井進作▽主査(水産総括)(住宅経営室住宅整備課主査)佐俣俊明▽主査(青果総括)(総務企画・会計担当(総務企画総括)より内部異動)坂本義幸▽副主査(総務企画・会計担当)(中小企業支援室経営支援課)鈴木寛子

《転出》▽定年退職(場長)森久子▽退職(次長)松下淳▽北部農と緑の総合事務所主査(主査(水産総括))細越秀治▽流通対策室主査(主査(青果総括))島亜紗美▽スマートフォン部スマ

ートシティ戦略総務課副主査(副主査(総務企画・会計担当))眞鍋光明

■府食品衛生検査所

《転入》▽課長補佐(食品衛生監視センター課長補佐)木内博子▽主査(検査総括)(同センター主査(総括)中地ひろみ▽技師(薬務課)皆木香織▽技師(四條畷保健所)長野優花▽技師(採用)上田康太

《転出》▽食品衛生監視センター課長補佐(課長補佐)城戸亜紀子▽同センター副主査(副主査)佐久間淳子▽同センター副主査(副主査)井口洋平▽同センター技師(技師)頓田祥子▽退職(技師)勝俣里依

■大果大阪青果(嶺北部支社)

《執行役員》▽野菜部部长(野菜部・副部长)川辺匡章《昇格》▽副部长(野菜部・課長)松田博之▽課長代理(果実部・係長)金丸卓磨▽係長(管理部・主任)中平正輝▽同(野菜部・主任)松倉準平▽同(果実部・主任)大塚浩平▽同(野菜部・主任)梅村治紀▽主任(野菜部・係員)中野竜美▽同(管理部・係員)日高綺李

状況を見極め、**従量制**による課金も含め検討。

議長より、青果組合においても検討するよう依頼。

○木製廃棄パレット排出

・昨年度の実績

排出量が23.3%の減、処理費用は38.1%の減。

引き続き更なる削減を目指し、**外部の持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用を徹底。**

■カラス対策

・昨年度の実績

931羽で過去最大。

今年度も固定式捕獲籠による捕獲に努める。4月20日現在で68羽捕獲。

■禁煙対策

4月20日現在、通告書交付(違反者)は297件(うち場外は76件)、**警告書交付(再違反者)は26件**↓さらに累犯で**入場禁止**。

■その他

・災害対応自販機

青果仲卸棟2階休憩室に2台導入(4月26日予定)

■その他

○電気料金の高騰

・管理Cからの説明

これまで3割カットなど電気料金の抑制に努めてきた。しかし、今般のアップはオールジャパンの情勢であり避けがたい。

6月末までは既存契約期間内で現状のままである

が、7月からの新たな契約にむけ、現在、できるだけアップ幅を抑制すべく事業者と折衝中。状況が判明次第、速やかに報告する。

・北冷からの依頼

電力料金アップで資金ショート間近。コストカットは限界であり、アップ対応について利用者負担を

運営わりでやってくる！

5月 キッチンカースケジュール

出店場所：管理棟前駐車場
※諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	A	3	4	5	6
8	9	10	B	11	12	13
15	16	C	17	18	19	20
22	23	24	B	25	26	27
29	30	31			6/3 Rice hug	

10:00~16:00
A Rabbit's Crepe
クレープ
タピオカドリンク

10:00~14:00
B HaLu-food truck
5/10のメニュー ホットドッグ

10:00~14:00
B HaLu-food truck
5/24のメニュー
タコライス
ガバオライス

11:00~13:30
C ぶらり食堂
ソースカツ丼
中華丼
血うどん

大阪府中央卸売市場管理センター

お願いせざるを得ないとの依頼が北冷より出された。これに対して、「コロナで各店舗は疲弊しており、さらなる負担はとて耐えられない」、「共

同冷蔵庫の利用抑制につながる各店舗の冷蔵施設の設置補助など、開設者としてトータルな施策を検討されていないのではないか」「そもそも他市場の冷蔵施設に比べて使用料が高い冷蔵庫の経営は厳しく、他の民間は経営に手をあげない。公的役割として整理すべきではないか」といった意見が出た。

一方で、「冷蔵庫の稼働率は8割であり、外からの荷の誘致にさらに力を尽くすべき」といった意見も出るなかで、開設者からは、「北冷への支援については、電気料金が上がったというだけでは難しいため、その前提として、北冷の経営努力、市場関係者の協力が必要」といった話が出た。

28日に予定されている開設者と北冷、管理Cの三者会議で対応策の詳細を詰めることになった。

臨時の安全部会

4月21日、管理棟7階で、臨時の標記会議が開催され、正門の場内入口付近の安全確保について意見交換がなされました。

冒頭、西田景典部会長より、「先般、**場内入口で車両と歩行者の重大事故が発生**しました。この場所では過去にも同様の事故がおきています。つきましては歩行者の安全確保に向け、皆さんの意見をよろしく。」との挨拶がありました。

委員からは、横断歩道のボタン付信号機の設定、横断歩道の場所の変更、注意喚起のカンバンの移設などの意見が出ました。

管理Cからは、「**一旦停止や速度のルールが守られていないのが主な理由。**通り抜け車両も相変わらず多い状況。このことから、センサー式開閉バーの設置などを検討中。死角をなくす観点から、既存のカンバンの移設についても検討したい」との話がありました。

また、開設者からは、委員の意見で出された横断歩道の場所の変更についても検討してはどうかといった話がありました。

最後に、部会長より「事故はルールさえ守れば防げるもの。事故が起きたら、当人だけでなく、周りの多くの人に多大な、そして、長期にわたる影響を及ぼします。

各社・団体におかれては、いま一度、ルールの徹底をお願いします。」との話があり、本日の意見を踏まえ、開設者と管理Cで費用対効果を踏まえ対応を検討することになりました。

経営戦略の策定

市場施設の適切な維持管理に取組みつつ、計画的で安定的な市場経営を行うための経営方針及び収支計画を定めた「府中央卸売市場経営戦略」が3月に策定されました。

計画期間は2022年度から2026年度までの5年間です。今後の経営方針として「①建替えによる再整備の検討の推進、②既存施設の適切な維持管理、③指定管理者(管理C)による効率的な運営の継続、④市場活性化の取組みの継続、⑤清潔で安全・安心な秩序ある市場づくりの継続」の5項目が掲げられています。詳細は大阪府のHPをご覧ください。

